

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	栃木県			代表者名	武藤 みき子
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総合政策部デジタル戦略課	連絡先電話番号	028-623-2825
担当者役職	主査	担当者氏名	三浦 大輔	連絡先E-mail	
住所	320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	オープンデータ利活用		
概要	オープンデータに関する研修				
支援を求める分野	オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案）				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月4日	支援・助言(実地)	13時00分	15時00分	10
			活動時間（分）	110	
2-2. 派遣場所	会場名	栃木県庁		最寄駅	JR宇都宮駅
	所在地	栃木県宇都宮市塙田1-1-20		最寄駅からの交通手段	バス、タクシー

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	丸田 之人
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	栃木県の実情（オープンデータに対する理解）にあわせた研修メニューを検討、提示していただいた。 職員の理解レベルを配慮いただき、わかりやすいように講義いただいた。 実際のオープンデータの活用例なども交え、活用シーンが想像しやすいようにご講義いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特に無し

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	27人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	27			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・県のオープンデータの取組は、事業実施課から依頼のあったデータのオープンデータサイトへの掲載にとどまっており、活用に至っていない。 ・県が公開しているオープンデータの中には機械判読が困難なものがあり、掲載データの質の向上が必要。 【課題】オープンデータの理解と積極的な推進、データの作成方法の習得				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・参加職員へのオープンデータの理解度向上 ・データを正しく扱うことによって達成ができることのイメージを持ってもらう ・機械判読性のあるデータのルールと、機械判読性を持つデータのメリットについての理解 ・オープンデータによる情報公開業務の効率化、軽減について ・データの可視化によるEBPMの促進				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	オープンデータ初学者向けに、順序立てた研修項目の設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータとその意義について</li> <li>・オープンデータの公開目的</li> <li>・オープンデータの活用事例</li> <li>・AI、RAGについて</li> <li>・機械判読性のあるデータの作り方について 等</li> </ul>
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータへの理解が深まった</li> <li>・機械判読性を持たせたデータの作り方について理解ができた</li> <li>・機械判読性のあるデータによって、データの可視化が容易になること、また、それによりEBPMが実行できることの理解が深まった</li> <li>・オープンデータの利活用事例を知ること、住民サービスの向上の可能性を知ることができた</li> </ul>
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない オープンデータの機械判読性を持たせるルールについての説明と、ルール作成に参考となる資料等のご紹介をいただけたので、県としてのデータ作成ルールが作れる見通しがたった。また、参加職員のオープンデータに対する理解度を上げ、データの利活用に関心を向けさせることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修の満足度が、「満足」以上が95%あり、大変好評だった。理解が深まったかどうかについても、95%が深まったと回答した。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ⑤その他 今年度中に「データ作成ガイドライン」を策定する予定。また、来年度以降の機械判読性のあるデータの作成とそれを用いてBIツール等によるデータの可視化を進めるために、職員の育成を実施していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	県のオープンデータ基本方針の下、オープンデータの取組が推進され、県職員に理解が浸透し、行政のオープンデータ公開が促進される。データを通じた情報公開が進み、データを活用した生活の利便性向上や防災・安全に寄与するサービス提供が展開される。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	---------------------------	---

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

